

## 1 開会

(事務局)

- ・(開会あいさつ、欠席者の確認)

## 2 教育長あいさつ

大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

今、小中学校では文化祭が行われています。本日、河北中の文化祭に参加してまいりました。大変すばらしいクラス対抗の合唱コンクールでした。このような活動を見ると、今、私たちが目指そうとしている河北中敷地内に、いわゆる施設一体型小中一貫校が実現できれば、敷地内でつながる小学生も中学生の頑張りを目の当たりにして、教育効果が狙えるのではないかということを思いながら、聴いていました。

本日は、よろしくお願いします。

## 3 委員長あいさつ

教育長からお話しいただいたとおり、第5回の整備委員会を迎え、あと数回で整備委員会を閉じることになるかと思います。そういう意味では、これまでの積み上げを確認すること、町民説明会の内容について、ご報告いただきながら、修正が必要な部分は起動修正して最終回につなげていくような大変重要な回になるかと思います。よろしくお願いします。

## 4 協議

### (1) 町民向け説明会について

(事務局) 資料 No.1 河北町立小中学校整備についての説明会の概要説明

(委員長から)

- ・5日間、5回にわたって説明会をした内容について、ご説明いただきました。これに関連して、委員の皆様から質問があれば、いただきたいと思います。

(委員から)

- ・私も説明会に参加させてもらい、聞いていたのですが、疑問に思うところとして、町としてこうしたいとことがあると、意見を聞いても取り入れるのではなく、ご意見として伺っていききたいとか、参考にさせていただきますということで、話をされていて、意見を取り入れて改善していこうというところが薄いのではないかと思います。

- ・例えば、中部小学校は新しいし、まだ使えるのではないか、もう中部小学校でよいのではないかということがあるけれども、小中一貫で 1 つの敷地にするということがあるから、いくら言っても却下されてしまう。
- ・それから、小中一貫校のメリットは説明するけれど、デメリットはあまり出てこなくて、小中一貫となったときに、教職員が小学校と中学校の両方を見なくてはいけないというかたちで、忙しくなりはしないかとか、小学校と中学校は別のところでやっても、連携さえすればよいのではないかということが、あまり理解されていないのではないか。
- ・中学校の校舎は最初、いろいろなところで話題になっていて、44 年も使っているのに危ないので、早く建替えなくてはいけないという話があったのが、結局、予算の関係で 60 年使うことになってしまおうとか、町の計画で、委員の皆さんの計画で、こうするということがあって、それを達成するために会議は開くのだけれども、出てきた意見に対して十分な検討はないのではないかと感じているのですけれどもいかがでしょうか。

(委員長から)

- ・大きく 2 点でしょうか。一つは、小中一貫における施設一体型で本当によいか、デメリットはどうかということですね。もう一つは、中学校の校舎が良くて、その多くに対応する必要があるのではないかとということですね。この点については、町民説明会でも説明がされているのですが、再度、事務局から説明いただきたいと思います。

(事務局)

- ・説明会でもお話しした通り、今のところ、中学校の校舎については、修繕して対応していくしかないという考えであります。
- ・中部小学校について、これまでの議論の中で小中一貫を進める上では、河北中の敷地内にあるほうがよいということで話し合われてきたので、再度、中部小学校を活用するという検討はしないよう考えています。

(事務局)

- ・小中一貫のデメリットについては、4 点説明させていただきました。通学距離の増加、地域コミュニティの衰退、統合による環境の変化への対応、施設改善や改修費用の 4 点で話をさせていただきました。それに対する対応策としても話をさせていただいたので、メリットだけを強調したわけではなく、メリット・デメリット両方に関して説明をさせていただいたと考えています。

(委員長から)

- ・このようなご回答ですが、ご意見ございましたらお願いします。

(委員から)

- ・メリット・デメリットなのですが、メリットは当たり前のことであって、何も小中一貫にしなくても連携でよいのではないか。小学校と中学校はいろいろな研究会

を持つとか、話し合いの場を持っていけば、何の問題もないのではないかな。あえて小中一貫の必要性を感じないということです。

- ・それで、小学校の校舎の活用についてなのですが、中部小学校の校舎は十分使えるし、あんなに広いので、活用したほうがよいだろうということで、小中一緒になって河北中の敷地になると混雑するという事かな。もっとのびのびと、子供たちに教育環境を整えたほうがよいのではないかなと思っているわけです。

(委員長から)

- ・今のご意見、町の説明をお聞きになって、関連したご意見がございましたら、いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員から)

- ・説明会の報告をずっと拝見して、どれだけの人が聞いたのだろうかということ、広くいろいろな世代の方、特に保護者に対して、どのくらい説明がなされたのだろうかということはクエスチョンです。しっかり対話で説明していく、デジタル等で配信も当然ありますが、対話の中できちんとやり取りをしていく機会が今後、必要なだろうなと思っていて、事務局もいつどのように聞いたらよいか、ご苦労が多々あると思います。
- ・各校のPTA総会には保護者が一堂に集まるので、そういう機会を逃さずに一斉に説明をし、意見を求めていく、対話的という部分ができるだろうし、必要なのではないかと私は思っております。
- ・そういった部分で、先ほどの委員がおっしゃったような、様々な意見がもつとおありなのだろうと。保護者の目線でもわからないことや、このようになったらよいという願いや、そのような機会を、今後、事務局でお考えいただければどうかと思ったところです。

(委員長から)

- ・ありがとうございます。他にございませんか。
- ・私はあり方検討委員会から関わらせていただいてきて、ずいぶん議論を尽くしてきた経緯がございます。その中で、一つは方向性として、施設一体型の小中一貫教育ができる学校づくりをしていかななくてはいけない。それから小学校に関しては、一つにしていけないと、これからの教育としてしっかり対応しきれないのではないかなということでした。
- ・それではどこ建てるかといったときに、現在ある学校だと吸収合併となるイメージが強くなるということから、思い切って新しい学校をつくるべきではないかという意見が、これまで出されてきたということだと思います。できれば中学校は古いので、改築してほしいというのは、私の本音です。ただ、前回、財政面を検討したときに町の年間予算を超える金額が必要になってくるということで、相当、町民に負担を与える、そうしたときに小学校と中学校の新築は別に考えなくてはいけないのではないかなという方向性になってきた経緯がございます。

(委員から)

- ・これまでの経過という部分、昨年までの経過についてはよくわからないところがありますけれども、先ほどもあったように、保護者がどこまでわかっているかという部分があると思います。
- ・結局、4案あった学校の建て方の検討部分については、最終的には財政面からこれしかないという考え方になってしまったわけです。でも、財政面を考えたら、中部小学校のほうが、財政面では収まる。まして、中学校が古くなって建替えなければいけないなら、中学校を先に建てて、分離型で進めて言ったうえで、13年後に一体型に変えることもできない。
- ・前回、中学校の部活はどうするという話になったときに、中央公園を使ったらよいという話になって、えっ？と私は思ったところもあったのです。中学校の部活動を大事にしたときに、中央公園を使うというのは一つの案であっても、それは違うのではないかと考えたところもあります。
- ・ましてや学校にプールがなくて、町民プールを間借りするようなことは、はたしてそれでよいかというところも不思議に思いました。
- ・統合が先にあって、小学生の人数が少なくなるから統合だということもあり、中部小学校だと吸収合併の意味合いが強いがあって、前回、前々回と参加して思うところがありましたが、これまでの経過がわからないので、これは言うてはいけないかとは思っていました。

(委員長から)

- ・町民の方々もおそらく結果だけを見ていくと、疑問に思うことも確かにあると思います。あり方検討委員会から、この整備委員会を含めて、検討していく中で、当然、紆余曲線してきましたが、その経過はいろいろ説明してきていたような感じもしています。当然ですが、齟齬があって理解が進まないということもあったかと思います。
- ・これまでの経過がバックしてしまうと、令和13年度開校も頓挫してしまうような感じもします。このあたりについては、お互いにご理解いただいて、もし、それに対する具体的な対案があればということになりますが、中部小学校には700人規模の学校は入らないのですね。プレハブ等を整備しなくてはならない。その予算も計上される。予算ありきではないということはわかりますけれども、先立つものがない限りは、前に進んでいかないのではないかと思います。
- ・中学校が古くなっているということなのですが、校長先生から意見をお願いします。

(委員から)

- ・47年目ですので、当然古くなっております。かなり大規模な改修は必要です。ただ、どういう議論がされたかは、今年からですのでわからない部分があるのですけれども、やれることをやっていかないとダメな部分があることは、少し感じておりまして、切り替えてやっていこうということも、職員とは話しているところです。

- ・小学校は新しくて中学校ボロボロだという状況になるわけですので、やはり遠慮せずに改修が必要な部分については出していけないと、これは後で子供たちが困ることになるということで、そういうところも踏まえて検討しています。
- ・テニスコートはなくなるという話になったときに、中央公園にも2面はあるということもあるけれども、例えば、現在、谷地高校にはテニス部がありませんので、そういうところの活用も含めて考えていくことも大事かと思ったところです。
- ・建物等に関しては、かなり不都合が生じているのは事実ですので、付け焼刃で直して耐えしのぐというのは難しい状況です。そのあたりは何とかしていただかなければならないというのが、現状で思っているところです。

(委員長から)

- ・ありがとうございます。現在、寒河江市では中学校を1校にするという計画を進めています。テニスコートと野球場は、旧中学校を使っていくようです。どこも敷地問題はあります。
- ・西川町では、小中分離型の一貫教育を10年以上進めてきました。西川中学校は旧西川東部中学校の校舎を使っていますので、大変古いです。小学校は新しくなって、小中連携教育を行っています。
- ・前回もお聞きしましたが、秋葉校長から施設分離型における一貫教育の在り方について、ご意見をお願いしたいと思います。

(委員から)

- ・西川小学校で教頭として4年務めて、一貫教育として、当時、委員長にもアドバイザーとしてご指導たまわりました。個人的には、義務教育学校ではどうなのだろうという考えは持っていました。でも、町の方針、教育長の方針として、小中一貫教育としながら、小学校、中学校の学校文化を尊重するという考えにも共感できる部分があって、そのような流れの中で、現在の河北中学校の敷地内にあるという経緯になっていると思っていますので、これまでの話し合いを尊重した上で、それに沿った意見を申し上げていきたいと思っています。
- ・西川小学校で苦労したことは、先生方の交流が日常的に行えないということです。電話をするが、顔が見えず、いちいち出張して、中学校に行かなくてはならない。生徒が交流するときも自転車で移動します。
- ・私は河北中の敷地一カ所に、のびのびとした共用部分をできるだけ設けながら、日常的に小中学生の姿がお互いに見える関係は、非常によいのではないかとイメージを持っています。
- ・教師が指導しなくても、一つの敷地とするメリットはたくさんあるのではないかと感じています。できれば廊下でつながのではなく、施設がつながっていればよいというのは、個人的に意見として持っており、角に共有スペースがあって、小中学生が日常的に自由に語り合ったりする。遊んだり、発表しあったりということが意図しなくて

も自然にできる。そういう空間に町民が入ってきたり、そのような環境が河北町にあるというのがよいのではないかと思います。

- ・これは個人的な意見ですが、廊下でつなぐのではさみしいと思っています。校舎は近ければ近いほうがよく、先生方も近いほどよいと思います。いつでも顔が見える、ちょっと話ができる、管理職同士もパッと行って、いつでも会話できる、そういう一体感が生まれる学校であってほしいと思います。
- ・西川小学校に4年務めて、やりにくさが多々あったという事は申し上げたいと思います。

(委員長から)

- ・校長先生お二人から意見をうかがいました。ありがとうございました。
- ・先ほどの意見の中に、先生方が忙しくならないか、という話があったわけですが、義務教育学校ですと、職員室を一つにして分掌なども混在して、多忙感が出てくるかと思っています。しかし、町に望んでいるのは小中一貫校であり、小学校は小学校、中学校は中学校で、それぞれの文化を残す。小学校の先生が中学生を、中学校の先生が小学生を指導するようなことは部分的にはあるかもしれません。文部科学省では、地域展開の指導者確保のため、小学校体育教員の参画などという話も出てきているようですが、そういうことではなく、小学校文化と中学校文化をきちんと守っていききたいというのが、教育長の考えでもあります。その方向で進めていくということになったかと思いますが、他にご意見ありますでしょうか。

(委員から)

- ・意見ではないですが、会議の場で話していると、せっかく教育長、委員長がよい方向にということ考えているのに、難しすぎる話になってしまいます。だから何度も繰り返しになってしまうように思います。一度、この会議とは別の場で、気軽に好きなように話し合うということもあるように思います。

(委員長から)

- ・大変貴重な意見で、最近は働き方改革などで、職場などでもそういう場がなくなってきています。表面的な意見だけで行き違うということもあり、非常に大切な場なのですが、事務局のほうでそういう場ができるかという、なかなか難しいところもありますか。
- ・前回までの話と、今の話で学んだこととして、これまでは施設一体型小中一貫校ということで進めてきて、できれば小中学校を一緒につくりたいけれども、まずは小学校から整備するということになり、小中一貫教育を進めたいので施設一体型とするのだから、河北中学校の敷地が妥当であるということでした。
- ・そして、保護者の要望は早くしてほしいということなので、令和13年度開校に向けて進めていく方向で進めてまいりましたので、それに沿った基本計画ということで、次の議題に移らせていただきます。

(計画支援)

- ・河北中学校の耐力度調査の結果から、小中一貫校の場合には国庫補助の対象とならないという状況があります。また、谷地中部小学校の敷地は、河北中学校の敷地に比べて狭く、本委員会では、できるだけ広い敷地ということもあり、決定したものと考えています。資料 No2 基本計画の検討については、先ほど委員長からお話いただいた方向性を基に、説明させていただきます。

## (2) 基本計画の検討について

(計画支援) 資料 No. 2 の説明

(委員長から)

- ・いろいろな経過で積みあがってきた結果、基本計画ができてきた経緯を、ご了解いただきながら、次に進めていく必要があるのかなということです。例えば、中学校を先に改築して、小学校は後でよいということだと、整備委員会をもう一度やるということになり、計画が先送りになってくるのかなと思います。可能性のある具体的な対案があれば、今からでも基本計画に含めていただきたいと思います。
- ・本日の資料には基本コンセプトはないですね。

(計画支援)

- ・前回までの話し合いで、一定のご了解を得たものと考えています。「地域」を「地域の方々」や「地域の皆様」とするかどうかについては、最終判断を事務局のほうで引き取らせていただければと考えています。

(委員長から)

- ・基本コンセプトと、ゾーンの考え方について修正する点や加える点がありましたら、ご意見を出していただきたいと思います。

(委員から)

- ・P4 の「地域住民が日常的に来校し子供たちと関わる機会」について、イメージが湧かないので、教えていただきたいです。

(委員から)

- ・私の意見に関する部分なので、お話をさせていただきます。私の経験では、開かれた学校ということが非常に大事だろうと思っています。日々授業は公開しており、お子様の様子、お孫さんの様子を、いつでも見に来てくださいというメッセージでもあります。地域の方々が来られたときに、授業以外の時間に子供たちと話したりするとか、地域学校協働活動ということで地域の方々を先生としてお招きして教えてもらったりするとか、これにより生き方を学んだり、郷土愛を育んだりするということで、様々なメリットがあると思います。
- ・地域の方々、保護者が来られたときに、どこに居たらよいかとならないように、スベ

ースがあることで、日常的に交流が生まれるような学校にしていきたいな、と私は思うので、希望を述べたところです。

(委員から)

- ・ありがとうございます。是非、そうなればよいと思うのですが、それなら、図書室は学校専用よいというのではなく、開放したほうがよいのではないのでしょうか。また、安全・安心の観点から電子錠や防犯カメラが必要となると、昇降口も電子錠になって矛盾があるのではないかと思います。

(委員長から)

- ・学校図書室が町民図書館と兼ねるという方法があります。現に西川町が行っています。町民図書館とするなら、相当のスペースをとる必要があるし、出入口も別につくって、いつでも入れるようにしておかなくてはいけなくなります。

(計画支援)

- ・学校図書室は、一般的に児童生徒用の選書となっており、教材としても使われるため、地域図書館とは違い、本の種類が偏っています。地域開放といわなくても、学校と保護者・地域が連携して、読み聞かせを行ったりする事例もあります。そのために、読み聞かせのコーナーを用意することもあります。

(委員長から)

- ・開かれた学校づくりというのは、どこの学校でも行っています。開かれた学校づくりというときに、図書室をその場所にするか、それとも別の場所にするかは、いろいろ検討できるかと思います。
- ・学校が町内で一つになったときに、今まであった学校が遠くなっても、見に行こうとなったときにフリーで居られるスペースがあるということが、大切なコンセプトになるのではないかなと思っております。
- ・先ほど、防災の話がありましたが、県内の小学校で熊が出て、ガラスを割っている。今後は、そういった対策まで必要になる。その小学校には防犯カメラが昇降口についていたから、あの映像が撮れたというということもあります。
- ・防犯の観点でも、カメラをつけるのが必須になってきています。校舎の中にカメラをつけると、これも非常に難しい。だから電子錠という話も出てきます。一般の人はどうやって出入りするかという気をつけておいて、解除するということになります。これは対応できると思います。

(委員から)

- ・是非、地域住民が集まりやすい、にぎやかな学校にしていきたいと思いますので、あまり、学校専用というのではなくて、学校専用でしょうけれども「行きたい人はいつでもいいよ」という空間にして、「学校専用」といった強い言葉ではないほうがよいのではないかなと思いました。

(委員長から)



- ・ありがとうございます。他にございましたら出してください。

(委員から)

- ・中学校のほうからの意見になりますが、部活動の地域展開のことも含めて、小学校の地域開放ということもあります。現状、中学校が今のまま残るということを考えると、体育館は社会教育の玄関から使えるけれど、どこの学校でも困っている吹奏楽部の地域展開が難しいということがあります。現在の中学校も音楽室が3階にあり、土日の活動をどうするかということになります。実際のゾーニングはこれからになるかと思えますけれども、新しく建てる学校は、音楽室も社会体育の玄関から使える設計になっている学校もあります。私が見てきた中では、体育館の脇に広い多目的スペースがあって、2階に音楽室と家庭科室があり、そこまでが社会教育のほうで開放できる、学童もそこに入っていて、そのようなやり方をしていたところがありました。中学校は今のままになると、なかなか導入できないので、できれば小学校の音楽室とか、部活動の地域展開にも活用させていただきたいと思います。最終的に中学校が改築すると言っても十数年後では遅いので、お願いをしたいと思います。
- ・そういう場所ができてくると、先ほど言っていた地域の方々が集まる場所とか、地域の音楽練習の場所として開放するなどもあるように思います。家庭科室なども広いので開放できるのではないかと個人的には思っていました。

(委員長から)

- ・新たな視点から要望がありました。一点目は、せっかく同じ敷地にあるなら、小学校の新しい施設を中学校でも使えるようにしたい。これは移動できるからできるわけです。視察した福島県大熊町の「学び舎 ゆめの森」では、家庭科室と食堂と音楽室が同じスペースになっていて、音楽室をステージにして、楽器が置いてあったりしました。P6の特別教室ゾーンを一体化していく、危険なものもある理科室などはきちんと管理できるようにしていくというようなことで、特別教室を開放していくことが、設計上は可能だと思います。
- ・ゾーニングに関しては、専門的な立場から、学校の先生方にアンケートを取っているということだと思いますが、その状況を説明してください。

(事務局)

- ・ゾーニングに関しては、現場の先生方のご意見も参考にしながら、基本計画を作成したいと考えております。現在、各校の先生方にゾーニングについての意見を出してもらっているところです。今週を目途として、意見を反映した基本計画を委員会で示せるようにしていきたいと考えています。

(委員長から)

- ・専門的な立場からのゾーニングに対する意見も調整しているということです。
- ・コミュニティルームというのは、保護者の方が来たり、子供たちがそこで交流するという意味で設置されるということですか。

(計画支援)

- ・コミュニティルームは、計画側の提案として入れています。学校には、これまで PTA 室があったと思います。一方で、PTA の組織をつくらない学校も増えています。それ以外にも「父母会」等の活動が盛んな学校もあります。これまでの PTA 室としてつくるのではなく、地域や保護者の活動スペースとして、それぞれの活動の持ち物を管理でき、災害時には支援拠点としても使えるような室として整備してはどうかということです。このような計画は近年、増えてきています。

(委員長から)

- ・新たな視点からのスペースということでゾーニングに加えているということだと思います。他にご意見あれば、いただきたいのですが、いかがでしょうか。

(委員から)

- ・前回、イメージが沸かないという話をしたら、設計はこれからだという話だったのですけれども、先ほど校長から話のあった西川小学校ですが、私も西川にいたときに、ちょうど統合に関わりました。当時、石川小学校は、低中高というブロックをベースとしてつくって、将来的に子供たちが減るから、高学年ブロックは中学校で使うということで、校舎は一つにできるという話だったのです。なるほど、最終的には小中がこの校舎を使うことになるなと思っていたのです。
- ・今回出されたのは小学校のイメージ案なのですが、できれば中学校まで広げた形で設計し、将来的な図をつくった上で、小学校をどうつくるかという検討をしていただきたいと思いま。今の交流スペースは小学校の部分でしか出てこないで、できれば中学校をイメージした上での部屋のつくり方を考える必要がある。将来的に人口増もあるかもしれませんが、10 年後には中学校が横に足されるということがあるわけですので、その中の小学校はこのような形というイメージづくりをしていただけたらと思います。

(委員長から)

- ・中学校との連携というご意見だと思います。当然、先ほどの音楽室の共用にもつながってきましたし、小学校文化、中学校文化を残すとは言っていますが、交流できるスペースも必要になってくると思いますので、設計の段階につなげていければと思いますが、いかがでしょうか。

(計画支援)

- ・現段階での中学校との関係と、将来の中学校との関係もあります。設計段階には、将来像を含めた設計図を作成して、具体的に検討することになると思いますが、現段階では、新しい小学校の配置や平面図も設計提案となるので、将来像を含めた設計をすることが大事だということを基本計画にしっかり示していきたいと思ひます。示し方については、計画目標の文章として検討しますので、改めてアドバイスいただければと思います。

(委員長から)

- ・他にご意見あれば、いただきたいのですが、いかがでしょうか。
- ・このゾーニングに関連して、校舎は何階建てでしたか、高層ではないですね。

(計画支援)

- ・条件により、考え方はいろいろあると思いますが、文部科学省の施設整備基準には、「3階建て以下が望ましい」とあります。研究として、高層階にいる子は屋外活動が減るというような論文もあります。自治体によっては、4階以上の階に教室を設けてはいけないという条例もあります。
- ・一方で、学校は屋外活動スペースも大事です。小学校ができれば、屋外スペースも減るので、あまり低層にすると、駐車場を含め屋外スペースが不足するということもあり、3階程度になるかと思いますが、そのあたりは設計提案によるとと思います。

(委員長から)

- ・最近暑くなっているという中で、熱中症対策として屋内で行う活動も多いので、運動スペースの熱中症対策ということも必要かもしれません。それも一つの防災ということかなと感じています。
- ・前段の町民説明会に関する意見として、もう少し、町民の声を聞いて修正できるようなスタンスで対応できないかというお話がございました。基本方針としては、施設一体型小中一貫校、小中を同時に改築することができないので、小学校を先に、中学校はその後になる、小学校は令和13年開校という時限を決めて進んでいく、この方向を揺るがしてしまうと、先が見えなくなってくるので、その方向だけはご理解いただきたいというのが、皆様へのお願いでございます。
- ・今日のご意見をもとにして、整理していただいて、計画を提案してもらおうということで、その際、学校の先生方に聞いているゾーニングに関する意見や町民説明会で出された意見などを含めながら、進めていただくということで、よろしいでしょうか。

(教育長から)

- ・貴重なご意見ありがとうございました。委員長の意見をいただきましたけれども、検討会は、令和4年5月にあり方検討委員会を立ち上げて、これまで検討してまいりました。最初は、財政の話は抜きにして、理想の教育に関する意見を出してくださいというのがスタートだったのです。その中で、様々なご意見をいただきました。あり方検討委員会では、小学校を1校にするという意見、あるいは段階的に統合する、あるいは6校ともそのままよいという意見の3つが出され、それらについて議論しました。3グループに分けて議論した結果、3グループとも1校にしようというのが結論だったのです。その方向性について、小中学校の保護者、幼稚園の保護者会に説明をし、ご意見もいただきました。その意見の中に「吸収統合は嫌だ」「なるべく早く統合してほしい」という意見があったわけです。あり方検討委員会でも小学校を1校にすることになり、それとあわせて中学校もかなり古いから、小中学校一緒に整備してはど

うかという意見が出たのです。そういったことを受けて、教育委員会では、大いに尊重しながら、基本方針を作成した次第であります。

- ・基本方針では、ご存じのように、小学校を1校にする、令和13年4月開校を目指す、施設一体型小中一貫校を一つの方向性として、メリット、デメリットを精査しながら、メリットを最大限に生かして、デメリットを最小限にするということで、これまで話し合ってきた次第であります。
- ・検討内容については、その都度、議会の厚生文教委員会と総合教育委員会等に報告を申し上げ、理解をしていただいて、今日まで進めてまいりました。前回、初めて財政面を出したわけですが、財政が最初にあると、これはできない、あればできないということで、なかなか教育、夢が語れないということで、このような経過をたどってきたわけであります。整備委員会は回を重ねてまいりましたが、その会議録もきちんとホームページに載せております。それをご覧いただければわかるかな、と思っています。
- ・私たちは子供たちにとって一番よい教育環境を構築すること、そして中長期的に考えたときに、このような整備方法が一番よいのではないかと考えているところであります。様々にご意見あると思いますけれども、今後、さらに具体的な基本計画が出たときに、皆様からご意見をいただいて、意見を尊重しながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(委員長から)

- ・最初からの話になると、今まで話にあったものだけでは進まない部分も、見えていなかった部分も多々あるかと思います。財政等、いろいろな問題も出てきますが、そこについての意見は、我々から出せないわけです。町にゆだねなくてはいけないところかなと思います。教育長がおっしゃったように、私たちに課されたのは、いつ、どこに、子供たちにとってよりよい教育環境をつくるにはどうするか、ということを議論していただけてきたと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

## 5 その他

- ・(特になし)

## 6 閉会

- ・(閉会あいさつ、次回開催案内：11月19日15：30～ 河北町産業振興センター)